

する相談に対応するために「事業系ごみ相談窓口」を開設しています。

また、一般廃棄物処理手数料に関するお問い合わせにも対応しています。

事業系ごみ相談窓口：06-6630-3410

ウ. 普及啓発

(ア) ごみ減量・リサイクルの実践に向けた働きかけ

○ ごみ減量市民フォーラムの開催

大阪市のごみ減量について考え、実践につなげる手立ての議論を深めるために、市民・事業者・NPO の参加のもと、ごみ減量市民フォーラムを開催しました。

平成23年度 開催回数：5回

参加者数：1,165名

○ 「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」の取り組み

平成21年12月12日に締結した「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」参加事業者・市民団体とともに「お買い物にはマイバッグを!!」(啓発イベント)を開催しました。

平成23年度 開催回数：5回

○ ごみ減量・リサイクル情報サイト

インターネットを効果的に活用し、ごみ減量・リサイクルの取り組みへの理解を深めていただいています。

ホームページ：

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu150/genryou/index.html>

平成23年度 アクセス数：113,860件

○ 「ごみ減量強化月間」の取り組み

10月を「ごみ減量強化月間」として、環境局が実施するイベントをはじめとして、市内各所で「ごみ減量・リサイクル」に皆さんが取り組んでいただけるよう啓発活動を実施しました。

○ ごみとリサイクルの流れ見学会の実施

ごみ分別の必要性や本市のリサイクルの流れについての理解を深めていただくために、ごみの焼却工場やリサイクル施設などの見学会を開催しました。

平成23年度 開催回数：15回

参加者数：397名

(イ) ごみ減量キャンペーン等

○ 大都市減量化・資源化共同キャンペーン

政令指定都市と東京23特別区が共同でポスターなどを作製し、毎年10月に一斉掲出しています。

○ 区民まつりへの参加

各区の区民まつりに啓発コーナーを設置し、ごみ減量や3Rについての啓発をしています。

○ 各種イベントにおけるごみ減量・リサイクルコーナーの運営

地域における各種イベントに参加し、地域の特性に応じた各種働きかけを行っています。

○ エコ・クッキング

調理材料を無駄にせず使い切ることをテーマに開催しています。

平成23年度 開催回数：15回 延べ378名参加

エ. 廃棄物減量等推進員と連携したごみ減量・リサイクルの推進

地域における自主的なごみ減量・リサイクル活動を大阪市と連携・協働して推進するリーダーとして「大阪市廃棄物減量等推進員(愛称：ごみゼロリーダー)」を設置し、「ごみ減量アクションプラン」の普及啓発、資源集団回収活動やガレージセールなど3R活動の促進、分別収集への排出協力の啓発などの推進を図っています。

・ガレージセール開催

廃棄物減量等推進員と協働し、家庭で不用になった品物の有効活用を目的に開催しています。

平成23年度 開催回数：15回

出店数：1,324店

入場者数：40,402名

② 一般廃棄物の適正処理

ごみの円滑な処理体制を維持するために、ごみの減量推進とともに、焼却・破砕等の中間処理施設の整備を図っています。

ア. ごみの中間処理

ごみの中間処理には、焼却・破砕・高速堆肥化等がありますが、可能な限りごみの資源化を行ったのち、中間処理しなければならない廃棄物については、衛生的処理、減量減容化の面で焼却処理が他の処理方法に比して最も優れていると考えられます。

大阪市では、焼却が必要なごみの全量焼却体制を維持しており、また、ごみ減量化と中間処理の過程におけるリサイクルを推進するため、大正工

場に破砕施設を設置するとともに、舞洲工場にも破砕設備を併設し、金属回収を実施しています。

なお、焼却工場では、焼却処理による二次公害を防ぐため、ばいじん及びダイオキシン類等排ガス対策、臭気対策、排水対策、騒音対策を行うとともに、工場の処理機能が十分に発揮できるよう、常に整備に留意し、公害防止に万全を期しています。

イ. 最終処分

北港処分地（舞洲）は大阪市にとって唯一、独自の最終処分地であり、廃棄物の減量・減容化を図り、貴重な最終処分空間の有効な活用に努めるとともに、汚水対策・発生ガス対策・害虫対策・飛散防止対策など公害防止対策に取り組んでいます。

廃棄物の広域的処理の観点から、「広域臨海環境整備センター法」に基づいて進められている「大阪湾フェニックス計画」（174 地方公共団体、4 港湾管理者が出資 平成24年4月現在）に参画し、長期的展望に立った最終処分地の確保を図っています。

環境局 Top Commitment

環境問題が地球規模に拡大する中、低炭素社会の構築や東日本大震災を契機としたエネルギー地産地消型の都市の構築、持続可能な循環型都市の構築など、さまざまな取り組みを進めてきました。

さらに、今後も低炭素社会の構築・良好な都市環境の確保等については、未利用・再生可能エネルギーの活用やヒートアイランド対策の推進による環境未来型の都市構造への変革、環境・エネルギー産業の誘致・活性化による環境未来型の産業構造への転換、環境教育や市民協働による環境未来型のライフスタイルの創造などを進めます。また、市民生活と企業活動の安全・安心を守るエネルギーセキュリティの確保やエネルギーの効率的利用等による新たなエネルギー社会の形成、市民・事業者との協働による一層のごみ減量・リサイクルを推進します。

これらにより、安全・快適で健康に生活ができる都市環境の確保を図り、もって環境への負荷が少なく、持続的発展が可能なまち「環境先進都市大阪」の実現をめざします。



かんちゃん きょうちゃん

「生き生き地球館」イメージキャラクター